

平成26年5月23日（金）発行

文責：川野邊勝也

# 学びのススメ

## テストが終わった今が大事！



基礎学力確認テストが終わりました。各教科の答案用紙が戻ってきている教科もあると思いますが、結果はいかがでしたか？もしくは手応えはどうでしたか？今回のテストは、どの教科もドリル学習を積み重ねれば点数に結びつくものであり、いかに徹底した反復学習をしたかがカギとなるテストでもあったと思います。徹底した反復学習ができた人は100点を取れているかもしれませんが、そうでなかった人は思うような結果を残すことができていないかもしれません。

テストが終わり結果が出た（出る）今、大事なのは「振り返り」です。テスト後のコメントとして、毎年次のようなものが見られます。

「復習をしっかりとしたいです。」

ここで言う「復習」とは具体的にどんなことをするのでしょうか？一般的には、間違った問題、解けなかった問題を繰り返し学習することを指すと思います。それはそれで大事なのですが、もっと大事にしてほしいことは、

「どうして間違ったのか？」「どうして解けなかったのか？」

を考えることです。ただ単に間違った、解けなかった問題を繰り返し学習して覚えたとしても、その本質的な部分を理解しようとしなければ、次もまた同じ失敗を繰り返します。ですから、自分のミスの本質を考え、分析しなければいけないのです。そこで提案するのが「うっかりノート」。2・3年生はすでにこの存在を知っているはずですが、1年生のためにおさらいしておきましょう。

### 「うっかりノート」とは？

自分のミスパターンを把握するため、小平中で推奨しているノートづくりのこと。

「うっかりノート」には、まず、テストで「うっかりミス」をした問題を書き出す。そして、自分がどの段階で間違っているのか、どんなミスをしたのか、なぜ解けなかったのかなどをメモとしてノートに書き込んでいく。

この取り組みは、一昨年から紹介しているものです。

これまで、色々な学習方法や参考となる事柄をこの「学びのススメ」で紹介してきました。自分に合う、合わないがあると思いますが、アドバイスをもとにまずは実践してみるということが大事なのではないかと思います。その中で、自分に合う学習方法を見つけ、自分のものにしていけるのです。

今年は実践の年！と「学びのススメ」第1号でも書きました。そこで、今回の基礎学力テストにおいて、全校生で「うっかりノート」づくりに取り組みたいと思います。全ての教科で100点を取った人は対象とはなりません。1問でも間違いがある人は必ず取り組んでください。担任の先生にも協力してもらいます。みんなの参考になる人のノートは次号以降で紹介したいと思いますので、よりよいノートづくりをしてみてください。

【「うっかりノート」の例】

※1年生は教室廊下前に先輩たちの例を掲示しておきましたので、参考にしてください。

＜基礎学力リストのうっかり＞

国語

× 策 → 菓 果を果にしてしまった。  
 東 菓 菓 菓 菓 菓 菓

数学

②  $3(a+2b)-4(2a-b)$  答え  $5a+10b$   
 $= 3a+6b-8a+4b$   
 $= 05a+10b \rightarrow$  答えは正しいのに、そのまま書かされた。

②  $\frac{3}{8} \div \frac{1}{4}$   
 $= \frac{3}{8} \times \frac{4}{1}$   
 $= \frac{3}{2} = 1\frac{1}{2}$

同様に5かい

②  $6ab \div 3b$   
 $= \frac{6ab}{3b}$   $b$ を約分しているのに、  
 分母の**b**を消していない。  
 $= 2a$  答えは..

理科

調節ねじ → 調整ねじ  
 にしてしまった。  
 調節ねじ 調節ねじ 調節ねじ  
 調節ねじ 調節ねじ

英語

～単語まちがい～  
 原形 過去形  
 write wrote どちらも「e」をつけた。

wednesday → Wednesday  
 大文字に「w」を付けた。

過去形 ×  
 said → said  
 反対に「i」を付けた。

